

第2学年 美術科 学習指導案

日 時 平成20年11月20日(月) 5校時
場 所 美術室
生 徒 2年1組(男16名,女19名,計35名)
授業者 福田 勝雄

- 1 題材名 「伝えよう!そのメッセージ ポスター制作」
2 題材について

(1) 系統性

1年生で、描く対象を五感で感じとり表現することや色彩に関する基礎的な知識や技能など、表現活動や鑑賞活動の基礎・基本を幅広く学習した。2年生では1年生での既習事項をもとに形や色彩などの効果を生かし表現の構想を練って、自分の考えや思いを表現することを深く追求させていきたい。そして、3年生では構想する力を活用して自分の内面と向き合い自画像の制作をさせたいと考える。

(2) 題材について

私たち人間の文化には、いろいろな表現活動がある。話したり、文字を書いたりして自らの考えや思いを伝える手段の中で、ひと目でわかりやすく、かつ印象的に伝えることができる点で美術が他より優れる場合がある。特にポスターは身近で、生活の中に密接にかかわりのあるものとして存在している。学習指導要領の2・3年生A表現(2)デザインや工芸の内容のイに「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かしてわかりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」があり、発想したり構想したりする力をつける学習として、ポスターはとても良い題材である。本題材では、テーマにそってグループで話し合いを繰り返し、考えをまとめていく手だてをとりながら美術がコミュニケーションの手段として果たす役割について考えることができるようにしていきたい。

(3) 生徒の実態

本校の生徒はのびのびと活動することが好きで、素直で制作に向かう姿勢は良い。しかし、自分に自信が持てずに慎重なりすぎる傾向がある。制作のよりどころとなる基礎的・基本的内容の定着が不十分であり、表現意図の決定と構想の段階での手だてを自ら考えることができない。

(4) 指導にあたって

自己を確立していく過程では、他者との関わり合いの中で自分のいろいろな面を知ることが必要であると同じように、自分の考えや伝えたいことなど構想を練る過程においても他者とのかかわり合いによってより深く追求できると考える。問題を共有し、話し合いをする中で、自分の考えを構想していく力をつけさせたい。

(5) 校内研究との関わり

本校の研究主題は、『自ら意欲的に学習する生徒の育成』～基礎・基本の定着とそれを活用する学習過程の工夫を通して～』とし、基礎・基本の定着と基礎・基本の活用の相互環流によって知識や技能が身に付くとしている。本題材での基礎・基本は「伝えたいテーマにそって発想し、構想する力」と「表現方法を工夫する力」である。「発想し、構想する力」は、学習プリントを通して自分の考えを文章でまとめていくことと、グループ学習を通して見につけさせていきたい。また、「表現方法を工夫する力」はこれまでの学習した内容の確認と表現技法の体験

をとおして自分の伝えたい内容に必要な技法をポスター制作に活用させていきたい。

3 題材の目標

(1) 指導の目標

「コミュニケーション活動をとおして自分の伝えたいことを工夫しながら表現することができる」

(2) 単元の評価基準

〈 関心・意欲・態度 〉・伝えたい内容を印象的に伝える工夫をしようとする

〈 発想や構想の能力 〉・伝えたい内容を、形や色彩の効果を生かして構想することができる。

〈 創造的な技能 〉 ・基礎・基本を理解し、用具や表現方法を工夫して制作することができる。

〈 鑑賞の能力 〉 ・作品を通して、他者の思いや意図表現の工夫を感じ取り、見方を深める。

4 単元の指導計画と具体的評価基準（16時間扱い）

次・時	学習活動	評価基準			
		関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	・ポスターの役割について理解し、伝えようとする内容や工夫を感じとる	・ポスターの役割や目的を理解し、いろいろなポスターの工夫されている点を知ろうとする。			・いろいろなポスターからさまざまな工夫されていることを感じ取ることができる。
2 3	・伝えたいテーマにそって構想を練る	・身の回りの事象や社会と向き合い、自分の考えや伝えたいことを見つげることができる。	・伝えたいこと・対象・視点を自ら考えたり、他者の意見を参考したりして考えることができる。		
4	・モダンテクニックなど表現技法を体験する	・いろいろな技法を理解し、積極的に体験しようとする。		・基礎・基本を理解し、用具や表現方法を工夫して制作することができる。	
5 6 7 (本時)	・スケッチを重ねて、画面構成や図柄を考える。	・いろいろな視点から図柄を描き、テーマを追求しようとする。	・伝えたい内容を形や色彩の効果を生かして構想することができる。		
8	・コピーの内容を検討する。	・図柄と照らし合わせてコピーについて意見交流をすることができる。	・図柄から伝えたい内容を、わかりやすく、かつ印象深いコピーを発想することができる。		
9 10 11	・画面の構成や図柄を検討しながら、下書きを完成する	・図柄がテーマにそっているかどうか検討しながら、下書きを制作しよ		・形の効果を生かして丁寧に下書きすることができる。	

		うとする事ができる。			
1 2 1 3 1 4 1 5	・視覚効果の工夫を図りながら彩色をすすめて完成させる	・テーマを追求する彩色計画を立てながら、制作をすすめることができる。		・色彩の効果や技法を生かして丁寧に彩色することができる。	
1 6	・作品鑑賞	・作品鑑賞を通して、他者の思いや意図表現の工夫を感じ取ろうとすることができる。			・作品を通して、他者の思いや意図表現の工夫を感じ取り、見方を深める事ができる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

「画面構成の工夫によって、自分の伝えたい内容を効果的に伝えることができる」

(2) 学習内容と具体的な判断基準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価		規準の内容を実現していない生徒への対応・手立て
		十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	
・画面構成の工夫を感じとり、構成の工夫によって、より印象的に伝えることができることを知る。	・図柄の大きさや配置といった画面構成の違いから印象的に伝える工夫を感じとったり、効果的に伝える工夫を考えたりすることができる。	・画面構成の工夫を感じとり、グループの話し合いに積極的に参加して、伝えたい内容を効果的に伝える工夫を考える事ができる。	・画面構成の工夫を知り、グループの話し合いに参加して、他者の意見を参考にしながら工夫を考える事ができる。	・考えるべきポイントやヒントを与える。
・伝えようとしている内容を効果的に表現できるよう画面構成を考え、構想する。	・グループ活動での発表を参考にしながら、伝えたい内容を印象深く伝えるための画面構成を構想することができる。	・伝えたい内容を印象深く伝えるための画面構成を自主的に考え、工夫することができる。	・伝えたい内容を印象深く伝えるための画面構成を他者の意見を参考にしながら考え、工夫することができる。	・考えるべきポイントやヒントを与える。 個別指導

(3) 本時の展開

	学習過程と5つの視点	学習内容及び学習活動	○ 具体の評価規準 * 対応・手立て
1	前時までの学習内容の	1 前時の内容を想起し、授	

<p>導 入 5 分</p>	<p>復習 【①興味・関心・意欲】</p> <p>2 課題確認 【②目的意識】</p>	<p>業に向かう姿勢をつくる</p> <p>2 画面構成の違う作品を鑑賞する</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面構成の工夫によって作品の印象が違うことを感じとる。 画面構成の工夫によって伝えたいことをより印象深く伝えることができることを知る。 	<p>○ 作品の違いや工夫を感じとり、発言することができる 〈興味・関心・意欲〉</p>
<p>課題 伝えたいメッセージをより印象深く伝えるための画面構成を考えよう</p>			
<p>展 開 40 分</p>	<p>3 課題解決の予想 【④所属感・貢献感】</p> <p>4 課題解決への探求</p> <p>5 ポスターの画面構成</p>	<p>3 生徒作品を共通の課題として効果的な画面構成をグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒作品のアイデアスケッチのパーツと画用紙を使用し、グループで話し合い、アイデアスケッチをまとめる <p>4 グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のグループの工夫を聞き、参考にすることができる <p>5 他者の考えを聞いて、自分の作品の参考にしながらアイデアスケッチをさらに工夫する。</p>	<p>○ グループで進行役、まとめ役を中心に話し合うことができる。 〈興味・関心・意欲〉</p> <p>○ 他者の発表から画面構成の工夫を参考にすることができる</p> <p>○ 伝えたいことを印象的に伝えるために画面構成を工夫することができる 〈発想や構想の能力〉</p> <p>* 考えるべきポイントやヒントを与える。</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>6 課題のまとめ 【⑤進歩感・成就感】</p> <p>7 授業のまとめ</p>	<p>6 前時までのスケッチから本時の授業でさらに工夫点を発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の発表を聞き、表現方法の工夫に気づく <p>7 本時の学習活動が本制作にどのようにつながっているのか確認し、今後の制作の見通しを持つ。</p>	<p>○ 作品をみつめ工夫を感じ取り、見方を深めることができる。</p> <p>○ 他者の発表から画面構成の工夫を参考にすることができる 〈鑑賞の能力〉</p>